



大いに盛り上がった第1回ボッチャ交流会

リオパラリンピックでの日本チーム銀メダル獲得という快挙以来、一気に全国的な注目を集めたボッチャですが、本校では、数年前からボッチャを日常の授業やスポーツ活動、さらには地域の学校との交流及び共同学習などに積極的に取り入れてきました。児童・生徒がスポーツの楽しさを味わうと同時に、スポーツを通じて多くの人と触れ合い、交流を深め、卒業後の社会参加につなげています。

特に、平成28年度は、7月に府立特別支援学校初の「第1回ボッチャ交流大会 in 南山城支

学校から地域へボッチャの輪を広げる

援学校」を本校体育館で開催しました。各校から12チーム40人余りの選手が参加。白熱した試合が展開され、応援に駆け付けた多くの方々と共に大いに盛り上がりました。

また、11月には、27年度に続き、府の「オリンピック・パラリンピック教育推進校」事業の一環として、日本ボッチャ協会の片岡正教事務局長を招いて、「第2回ボッチャ指導者研修会」を開催しました。特別支援学校だけでなく、本校校区にある小・中学校や高校教員にも案内しました。近隣の市町行政機関からも社会スポーツ担当者などの参加があり、ボッチャの魅力を学校から地域に発信する機会ともなりました。

ボッチャをはじめとして、障害のあるなしにかかわらず、子どもからお年寄りまでさまざまな人々が一緒になって楽しめる「生涯スポーツ」が地域の中で普及し、「共生社会の実現」へとつながっていくことを願っています。

（村田尚美・京都府立南山城支援学校校長）